

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、14～19℃台を示し、やや高い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網——西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり16トンの水揚げで、前週の64%（前年を上回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり8トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり114kgの水揚げで、前週の64%（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり8トンの水揚げで、前週の75%（前年を上回った）。ケンサキイカは、壱岐勝本地区では、1日当たり528kgの水揚げで、前週の1.3倍（前年を上回った）。五島奈留地区では1日1統当たり24kgの水揚げで、前週の1.4倍（前年並み）。
- 定置網——五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり2.7トンの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり46kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、ヒラマサなどが1日当たり51kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（3/25～3/30の6日間）沖合イカ釣り船、船凍船は切揚休漁。
沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐海峡周辺に出漁。
鳥取県西部（沖合船）1日延1隻、総計72箱、スルメイカを漁獲、魚体は20～25入り主体。
今期は山口沖が主漁場となった。
（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第2-9号 五島海区のキビナゴの資源評価」を長崎県庁ホームページ「地方機関総合水産試験場」に掲載しています。

長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧ください。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>